

# 石巻健育会病院

遠藤千恵(病棟師長)

**功 績** 2018年12月当院で初めてフィリピンからEPA看護師候補者を受け入れた。言葉や文化の違いを乗り越え来日したEPA看護師候補者に対し、学習支援、日本語支援、生活支援などあらゆるサポートが必要であった。このような背景の中、看護部の教育委員長でもある遠藤師長は自らサポートを申し出てくれた。年間学習計画の立案はじめ、毎週のテスト作成、テスト後の解説など親身になって支援した。遠藤師長のサポートの甲斐があり、ヤーナさんを3年の期限内で看護師国家試験合格へと導くことができた。ヤーナさんの人生の夢が実現し、また厚生労働省のホームページに合格者受け入れ病院として掲載され知名度アップにも貢献した功績。

**推 薦 者** 庄司正枝

**推 薦 理 由** 3年間の期限の中で、EPA看護師候補者を国家試験に合格させるのはなかなか大変なことです。遠藤師長は日本語の壁、文化や習慣の違いなどすべてを受け入れつつ、病棟管理業務の傍ら熱心にそして根気強く関わってくれました。看護師国家試験の合格は遠藤師長のサポートがなければ成し遂げることはできなかったと思います。EPA看護師候補者の看護師国家試験合格のサポート及び病院知名度のさらなる向上に貢献した遠藤師長を理事長賞に推薦致します。

## 内 容

当院では2018年度フィリピンからEPA看護師候補者を受け入れた。初めての受け入れだったため、接し方、話し方、教え方に戸惑っていました。そのような中、遠藤師長はサポートを申し出てくれ、研修会場へのお迎えをはじめ生活の準備やサポート、学習計画の立案など快く対応してくれました。

学習支援では、週2回のテスト作成、正誤解答の解説、日本語の説明、学習の進捗確認、結果の集計など行いました。その中でも日本語の文章読解や看護専門用語の理解はなかなか困難ででしたが、遠藤師長は一緒に調べたり、わかりやすい日本語や言葉を選んで一つひとつ丁寧に紐解き説明していました。それだけでなく、EPA看護師候補者の誕生日にはプレゼントを贈り、クリスマスには手作りのケーキを焼き、親身になって心身のサポートも続けてくれました。特に2020年度はコロナ禍でフィリピンへ一時帰国することができず、落ち込んでいたヤーナさんを励ましながら支えてくれました。

EPA全体の看護師国家試験合格率は約20%、外国人の合格は難易度が高く、なかなか合格を勝ち取ることが難しい中、EPA看護師候補者を支え続け、見事合格に導くことができました。ヤーナさんの努力が一番ですが、その努力や学習への姿勢を下支えした遠藤師長のサポートの成果とも言えます。

3年という期限内で看護師国家試験合格を果たし、ヤーナさんは日本で看護師として働くという夢を実現することができました。また、厚生労働省のホームページにEPA看護師候補者の合格者受け入れ施設として病院名が掲載されました。